

事務事業名		大東農村環境改善センター(桂荘)管理事業		所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	産業施設グループ	課長名	安部昭彦
	施策名	(38)観光の振興		担当者名	永井義雄	電話番号	0854-40-1093
	目的:対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。		(内線)	2421
	基本事業名	(117)受け入れ施設の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	農業施設管理事業	
目的:対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。		項 目 中事業 中事業名	大東農村環境改善センター管 理事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
大東農村環境改善センター(桂荘)の施設管理 施設概要:鉄筋コンクリート一部2階建 1,431㎡ 雲南市の農業経営及び農村生活の改善合理化と市民の明るく豊かな文化生活、教養の向上と健康の増進並びに新しい農村の地域社会づくりのため大東農村環境改善センターを設置した。
指定管理者 海潮地区振興会 指定管理期間 平成29年4月1日~平成32年3月31日 (3年間)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)		30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
	① 指定管理者との基本協定、年度協定の締結 ② 指定管理料の支払い ③ 各月利用状況報告受理 ④ モニタリングの実施 ⑤ 施設等修繕 4件 ⑥ 工事発注 1件 ⑦ 桂荘運営委員会への出席	① 指定管理者との年度協定の締結 ② 指定管理料の支払い ③ 各月利用状況報告受理 ④ モニタリングの実施 ⑤ 施設等修繕 2件 ⑥ 桂荘運営委員会への出席					
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
	ア 開館日数	日	313	312	308	312	
	イ 契約件数	件	1	1	8	4	
	ウ 支払件数	件	12	12	29	26	
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	① 市民 ② 市外からの入込客	ア 日本の人口	千人	127,094	126,933	126,706	125,236
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		ウ 観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	①②利用できる。	ア 入湯者数	人	81,215	84,405	79,675	81,275
イ 入浴券販売額		千円	14,026	14,355	14,012	14,000	
ウ 回数券販売額		千円	7,545	8,067	8,150	8,000	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【指定管理料】7,973千円 【修繕費】644千円 【賃借料】286千円 【工事請負費】1,739千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	8,682	8,682	10,642
		事業費計(A)	千円	8,682	8,682	10,642
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	576	576	576
		人件費計(B)	千円	2,254	2,285	2,348
		トータルコスト(A)+(B)	千円	10,936	10,967	12,990

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
対象者は変化なし。 大東健康ランドゆとりの里閉鎖に伴い、利用者は増。	大東健康ランドゆとりの里、雲南市大東ふれあいパーク、雲南市営憩いの家「かじか荘」、大東農村環境改善センター(桂荘)の4施設を平成20年度まで指定管理で行っていたが、大東健康ランドゆとりの里閉鎖に伴い、憩いの家かじか荘も閉鎖し、大東農村環境改善センター(桂荘)に統合した。	指定管理者から施設設備等修繕の要望がある。

事務事業名	大東農村環境改善センター(桂荘)管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	安定的な利用者数があり、指定管理者による営業努力もされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	健康増進や保養の場が減少し、苦情が出てくる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		近隣に類似施設がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		最低限で指定管理しているため、これ以上の削減余地はない。
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		最低限で指定管理しているため、これ以上の削減余地はない。
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		誰でも温泉を利用することはでき、特定の人に限定したものではない。
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		地元住民が組織し指定管理を行っており、愛着を持って施設を維持管理している。 平成29年度は利用者数が若干の減となったが、年間8万人程度の安定的な集客がされている。
A 目的 妥当性	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
B 有効性	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
平成29年度は利用者数が若干の減となったが、年間8万人程度の安定的な集客がされている。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		